

ナイロビ大学開発研究所（社会科学部門）

Social Science Division, Institute for Development
Studies, University College Nairobi

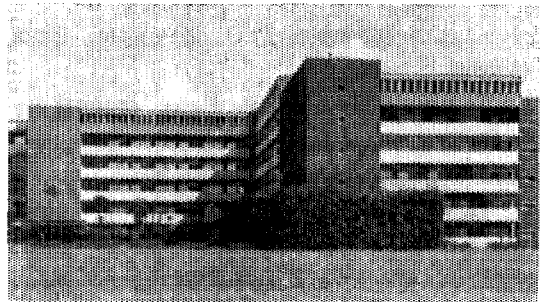
ナイロビはマサイ語で「水のある所」を意味する。ここは19世紀末、ケニア・ウガンダ鉄道が海岸のモンバサからヴィクトリア湖岸のキスムに敷設される途中の前進基地から発達して現在ケニアの首都となった。したがって隣国ウガンダの首都カンパラやタンザニアの首都ダルエスサラームに比べて、都市としての歴史は新しいが、町の規模は最大であり、現在東アフリカ全体の中心都市となっている。東アフリカ3国のうち、最も古いマケレレ大学は1921年に創立され、ケニアのロイヤル・テクニカル・カレッジ（現在のユニヴァーシティ・カレッジ・ナイロビの前身）は1952年、タンザニアのダルエスサラーム大学は1961年に創立された。

ナイロビ大学は町の北のはずれ、住宅街と接する一区画、ユニヴァーシティ・ウェイとウフル・ハイウェイにはさまれた場所にあり、学生数は約1400名、アフリカ人、インド人がほぼ半数ずつで、その他に数十名のヨーロッパ人学生が在籍している。ナイロビ大学の設立目的は、工学部を中心にした専門学校創立であったが、現在では、医学部を除き、ほぼすべての学部をもつ総合大学となっている。

これから紹介する「ナイロビ大学開発研究所（社会科学部門）」は、このナイロビ大学の付属機関である。

筆者は1967年2月から1969年1月までの2年間、当研究所の客員研究員として生活したが、以下その体験をもとにして研究所の活動状況について書いてみよう。

研究所が設立されたのは1965年10月で、その設立の趣旨は、(1)東アフリカ、特にケニアの経済および社会開発に関する調査研究、(2)研究所員セミナー、公開セミナー、会議、出版物を通して、これらの研究を討論し、その結果を公にする、(3)大学の経済・政治・社会の各学科に教員を供給する、(4)東アフリカの社会科学者の指導訓練を行なう、(5)研究所員個人々の社会的奉仕活動を通して、より広く社会に奉仕する、となっている。そしてその財源は多く国外に依存している。すなわち、そのおもな出資者はロックフェラー財団、イギリス海外開発省、ノルウ



ェー国際開発機関、ニューヨーク人口問題研究所、それにナイロビ大学社会科学関係調査研究基金 (the social science research vote) などである。

調査研究活動には大きく分けて三つの形態がある。すなわち、(1)ケニアおよび東アフリカの経済問題に関する長期的研究、(2)緊急の政策に密着した問題の研究、(3)種々の政府委員会への専門的立場からの諮問と政府に対する報告書の提出である。したがって、調査計画は政府代表との密接な協議によって作成され、政府との日常的連絡は、いろいろな臨時の会合などを通じて保たれている。たとえば、わたくしの滞在期間中に、ケニア政府は「アフリカナイゼーション」政策を実施したが、この際、政府関係者を交えての討論および所内のスタッフの討論会が行なわれ、後者の結果は新聞、雑誌に公表された。

研究所員には二つのカテゴリーがある。(1)研究所が雇用する調査専門員 (Research Fellow) と、(2)准調査員 (Research Associate) である。准調査員には2種類あり、第1は東アフリカ外の研究機関から派遣された研究者、第2はこの研究所の調査計画と密接なつながりをもつ東アフリカ内の他の諸機関から派遣された者である。1969年現在、研究所の所長はハーヴァード大学政治学出身の J. S. Coleman 教授 (*Nigeria: Background to Nationalism*, 1958 の著者として名高い)、所長代理は、Dr. D. P. Ghai、上級調査専門員3名、調査専門員11名、初級調査専門員5名、客員准調査員10名のスタッフがいる。財源の関係上アメリカ人が多く、自由な雰囲気にあ

研究機関紹介

ふれているが、一面、つぎからつぎへとプロダクトを発表する、いわゆる「多産主義」傾向が強い。また、普通1年単位でくる者が多く、現地語等を十分修得せずにフィールド調査を行なっているのを見ると、かれらのヴァイタリティには感心するが、その調査結果については若干の危惧の念を禁じえない。しかし、これらの調査結果については、つぎに述べるセミナーで、多くのスタッフの意見を聞き、また長年ケニアに住み、実地経験が豊富で現地語にも堪能なイギリス人の政府担当官等のコメントをとり入れて何度か修正を行ない、最終的には、その弱点を克服しようとしている。

研究の計画者とそれを実施するものは、研究所員セミナー（月に2度くらい開かれ、事前にタイプ10枚程度のDiscussion Paperが配られ、発表者は要旨を15分ほど述べ、あとは自由討論となるが、時間はきっかり1時間で終わる）、公開セミナー（平均月に1度くらい。大学の政治・経済・社会学部のスタッフや政府の関係官庁の役人を呼んでヒアリングを行なうが、前者の場合、あらかじめやはりタイプ10枚ほどのEconomic Paperが配られ、後者の場合は、新しい統計や政府出版物が出るとその担当責任者がそれについて説明を行なったりする）、会議（通常年1度東アフリカ3国の大学の付属研究所が合同して発表会を行なうが、開催地はマケレレ、ダルエスサラーム、ナイロビで交替に開かれる。たいていは1月の第1週の3日間がその会議にあてられる。この会議の正式な名称は東アフリカ社会科学会議 [East African Social Science Conference] である）を随時開き、研究結果を批判し合い、今後の調査の進め方を一緒に考えている。

そのほか、研究成果をより広く知らせるために、いくつかの発表手段をもっている。(1)継続中の研究の中間結果を知るための討論用ペーパー (Discussion Papers Series, 前述した研究所員セミナーに使われる)、(2)より包括的な調査結末である特別ペーパー (Occasional Papers Series)、(3)より長期の研究成果であるモノグラフ・シリーズ、(4)雑誌にすでに発表された論文の再収録 (Reprint) 等である。

さらに、研究活動とは別に、すべての上級専門調査員は、大学の経済、政治、社会学科で、1週数時間の講義をもち、その際には各自の研究結果が教材として使われることもある。同時に、研究所員は、高等学校や専門学校の教材の作製に協力したりする。

また、研究所員のケニア国民への啓蒙活動も仕事の環境である。たとえば、ラジオやテレビの教育番組に出た

り、新聞に時の問題について時評を書いたり、講演を行なったりしている。

以上の記述から明らかなように、研究所と政府との関係は、日本の場合に比べるとはるかに密接である。だがこのことはただちに政府が「研究の自由」を束縛していると考えすることは適切ではないと思う。なぜならば、ケニアのように独立してまもない国においては、政府が政策を立案し、決定し、実施し、その効果を測定する際、他に頼るべき機関がなく、いきおい研究所に依存せざるをえないからである。そのことは文末の研究課題や研究報告をみれば明らかなように、その結果がすぐに政策に役だつようなテーマが非常に多いことからもうかがえよう。だが、そうだからといって研究所のスタッフたちが、ケニア政府のために仕事をしているという意識はほとんどなく、おのおの専門の分野で、ときには博士論文作成のために、きわめて自由に調査研究を行なっている。ケニア政府はこれら研究者に対して調査研究の便宜を提供すると同時に、かれらの研究成果を十分に利用しているというのが現実である。

つぎに感じられたことは、ほとんどすべての研究が個人研究であって、共同研究が行なわれていないことである。わたくしが赴任する直前、ケニアの農業開発計画の一つである「100万エーカー入植計画」について各専門の研究者が共同して調査を行なう共同研究が立案されたが、着任してみるとそれは計画倒れになっていた。その大きな理由はスタッフの任期がほとんど1年間という短期のためである。このことは、逆にみると、1年間の任期の間にはできるだけ個人としての成果をあげるため、個人の専門分野に閉じこもり、セミナー以外の場では研究者間の交流が行なわれにくいことになる。もちろん、ティー・タイムやランチ・タイムには雑談程度はかわされるが、それ以外は与えられた個室に閉じこもったり、資料を求めて関係官庁にいたり、フィールドにはいたりしている場合が多い。「個人研究」と「共同研究」の優劣はいちがいに論ぜられないであろうが、「個人研究」に徹している一つの研究機関のあり方として考えるべき問題があるのではないだろうか。

つぎに最近の研究所員の研究テーマを掲げておく。

(I) 農業と農村開発

T. J. Aldington and F. Wilson, "The Marketing of Reef in Kenya."

J. Heyer, "Price Policy in the Kenya Dairy Indus-

- try.”
- J. Heyer and C. Hollen, “Rural Dairy Cooperatives.”
- F. Holmquist, “The Implementation of Development Plans at the District Level; Kisii District.”
- D. Ireri, “Location of Maize Storage Facilities in Kenya.”
- , J. Heyer and J. Moris, “Inventory Survey of Rural Development.”
- J. Moris, “Embu District Development Study.”
- and R. Chambers, “Comprehensive Study of the Mwea-Tebere Irrigation Scheme.”
- L. D. Smith, “Cereal Crops Marketing Policy.”
- F. A. Wilson, “The Marketing of Horticultural Crops in Kenya.”
- (II) 教育
- J. Anderson, “The Development of Harambee Schools.”
- J. Coleman, “Recruitment and Socialization of Elites.”
- E. Rado, “Vocational Education and Employment.”
- and D. Rogers, “The Rates of Return to Education in Kenya.”
- D. Rogers, “The Returns to Investment in Higher Levels of Education in Kenya.”
- , “Government Revenue from a Loan Programme for University Students.”
- , “Student Employment Expectations and Realisations.”
- (III) 工業と都市開発
- D. Ghai, “Employment, Productivity and Wages in Selected Firms in Kenya.”
- , “Industrial Incentives in East African Countries.”
- and F. Stewart, “Wage Differentials for Unskilled Workers in Kenya.”
- H. Dahl, “Input-Output Table.”
- J. Harris, “Urban and Regional Development.”
- J. Makee, “A Study of Kenya Paper and Paper-Using Industries.”
- , “A Comparative Study of Industrial Protection in Kenya.”
- E. Rado and J. Wells, “The Kenya Building Industry.”
- J. G. Smith, “External Financing of Industrialization.”
- , G. Delehanty, T. Ryan and F. Stewart, “Industry in East Africa.”
- F. Stewart, “Labour Markets in East Africa.”
- M. Todars, “Factors Affecting Urban Unemployment in Nairobi.”
- , “Impact of Imported Technology on Growth and Labour Absorption in the Industrial Sector.”
- M. Wheeler, “Professional Fees in the Kenya Building Industries.”
- E. J. Wells, “Building Materials in Kenya.”
- (IV) その他
- P. Diamond, “Taxation and Public Investments in Kenya.”
- D. Ghai and E. A. Brett, “Economic History of East Africa.”
- D. F. Heisel, “Analysis of Social and Medical Characteristics of Clients of the Family Planning Association of Kenya.”
- W. Martin, “Knowledge, Attitudes and Practice in Regard to Family Planning.”
- F. Mitchell, “Cost Benefit Analysis of Tourism in Kenya.”
- , “Economic Value of Wildlife Viewing as a Form of Land Use.”
- and R. Clarke, “Economic Value of Hunting and Outfitting in East Africa.”
- M. Wheeler, “The Economics of the Medical Auxiliary in Kenya.”
- 最後に、同研究所の創立以来の出版物としては、以下のものがある。

Reprint

1. P. Robson, *Stagnation of Growth for East Africa.*
2. D. M. Etherington, *Land Settlement in Kenya: Policy and Practice.*
3. D. A. Lury, *National Accounts in Africa.*
4. J. E. Price, *International Burden-Sharing.*
5. C. W. Howe and H. Karani, *A Projection Model for the Kenya Economy.*
6. D. M. Etherington, *Projected Changes in Urban*

- and Rural Population in Kenya and the Implication for Development Policy.*
7. M. Gaskin, *Monetary Flexibility in Dependent Economies.*
 8. C. A. Cooper and B. F. Massell, *Toward a General Theory of Customs Unions for Developing Countries.*
 9. P. Robson, *The Problem of Senegambia.*
 10. C. A. Cooper and B. F. Massell, *A New Look at Customs Union Theory.*
 11. J. H. Proctor, *The Role of the Senate in the Kenya Political System.*
 12. J. H. Proctor and K. G. V. Krishna, *The East African Common Services Organisation: An Assessment.*
 13. D. A. Lury, *The Trade Statistics of the Countries of East Africa 1945-1964 and African Population Estimates: Back Projections of Recent Census Results.*
 14. J. H. Proctor, *The Efforts to Federate East Africa: A Post-Mortem.*
 15. D. A. Lury and A. A. Shah, *Local Government in Kenya: Income and Expenditure 1959-1961.*
 16. W. Barber, *Some Questions about Labour Force Analysis in Agrarian Economies with Particular Reference to Kenya.*
 17. J. U. Heyer, *Kenya's Cautious Development Plan.*
 18. J. U. Heyer, *Kenya's Agricultural Development Policy.*
 19. C. W. Howe, *The Use of Sample Household Expenditure Surveys in Economic Planning in East Africa.*

Monographs

1. D. Rothchild, editor, *Politics of Integration: An East African Documentary* (Nairobi: East African Publishing House, 1968).

Occasional Papers

1. J. Heyer, *The Economics of Small-Scale Farming in Lowland Machakos.*
2. B. F. Massell and J. Heyer, *Household Expend-*

iture in Nairobi: A Statistical Analysis of Consumer Behaviour.

Discussion Papers

1. C. W. Howe and H. Karani, *A Statistical Projection Model for the Kenya Economy.*
2. J. U. Heyer, *A Linear Programming Model for Peasant Agriculture in Kenya.*
3. K. G. V. Krishna, *The Industrial Sector in Kenya's Plan.*
4. J. S. Price, *International Burden Sharing.*
5. D. M. Etherington, *The Capacity of Kenya Agriculture to Absorb Increased Population.*
6. J. Kamau, *Problems of African Business Enterprise.*
7. C. W. Howe, *Lower-Middle Income African Consumer Behaviour in Nairobi.*
8. J. Loxley, *Building Society Instability in Kenya.*
9. D. A. Lury, *National Accounts Bibliography for East Africa, 1962-1964.*
10. M. Gaskin, *Monetary Flexibility in Dependent Economies.*
11. M. Gaskin, *Recent Application of the Multiplier in Monetary Analysis.*
12. C. W. Howe, *The Use of Sample Household Surveys in Economic Planning with Some Empirical Results for East Africa.*
13. W. Barber, *Some Questions about Labour Force Analysis in Agrarian Economies with Particular Reference to Kenya.*
14. J. U. Heyer, *Some Problems in the Valuation of Subsistence Output.*
15. D. A. Lury and A. A. Shah, *Local Government in Kenya—Income and Expenditure.*
16. R. H. Green, *Projections, Projects, and Procedure: Some Aspects of Planning for Implementation.*
17. N. O. Jorgensen, *The Case for Cooperative Loan Association in Kenya.*
18. D. A. Lury, *Population Data in East Africa.*
19. H. Karani, *Pricing and Marketing of Maize in Kenya.*

20. B. F. Massell, J. U. Heyer and H. Karani, *Maize Policy in Kenya*.
21. H. Klemm, *Some Aspects of Milk Marketing in Kenya*.
22. D. F. Heisel, *Measuring Current Population Changes*.
23. B. F. Massell, *Elimination of Management Bias from Production Function Fitted to Cross-Section Data: A Model and an Application to African Agriculture*.
24. D. F. Heisel, *The Rate of Population Change as a Variable in Development Planning*.
25. B. F. Massell, *Further Remarks on Maize Policy*.
26. L. R. Cliffe, *The Role of Adult Education in the Development of East Africa*.
27. D. A. Lury, *The Role of Mathematics in Economics*.
28. J. W. Harbeson, *Land Resettlement and the Politics of Rural Development*.
29. B. F. Massell, *Expenditure Patterns in the Central Province of Kenya: A Preliminary Analysis*.
30. H. Karani, *A Projection Model for the Kenya Economy: Implications of the Kenya Development Plan, 1966-1970*.
31. J. R. Cliffe, C. Gertzel, J. W. Harbeson, P. Marris and J. Nottingham, *Proposals for Local Government Reform in Kenya*.
32. B. F. Massell, *Farm Management in Peasant Agriculture: An Empirical Study*.
33. D. F. Heisel, *Demographic Trends and Educational Needs*.
34. D. Rothchild, *From Federalism to Neo-Federalism in East Africa*.
35. J. U. Heyer, *Alternative Development Strategies for Lowland Machakos Farms*.
36. H. C. A. Somerset, *The Effects of Elementary School Quality on Secondary School Achievement*.
37. P. Marris, *Lending Money*.
38. J. W. Harbeson, *Land Resettlement and Development Strategy in Kenya*.
39. J. E. Anderson, *Primary School Leavers in Rural Areas*.
40. D. M. Etherington, *The Calculation of Smallholder Tea Yields in Kenya: Multiple Linear Regression Analysis*.
41. B. F. Massell, *On Growth Models and Multipliers: The Case of the Missing Constraint*.
42. J. R. Clarke and F. Mitchell, *Foreign Investment and Economic Growth: The Case of Mr. Newman*.
43. B. F. Massell, *Some Remarks on the Theory of Effective Protection*.
44. B. F. Massell, *Farm Management in Peasant Agriculture: An Empirical Study* (Revised).
45. J. R. Clarke, *East Africa: Estimation of Import Duties on Transferred Goods (Restricted Distribution)*.
46. B. F. Massell, *A Note on Two Sources of Bias in Estimating Income Elasticities from Cross-Section Data on Households Producing at Least Partly for Subsistence*.
47. N. O. Jorgensen, *I. C. D. C.: Its Purpose and Performance*.
48. B. F. Massell and J. U. Heyer, *Household Expenditure in Nairobi: A Statistical Analysis of Consumer Behaviour*.
49. B. F. Massell, *Determinants of Household Expenditure in Rural Kenya*.
50. D. P. Ghai, *Analytical Aspects of an Incomes Policy for Kenya*.
51. D. C. Rogers, *Rates of Return to Education in the United States: A Theoretical and Empirical Study*.
52. J. W. Harbeson, *The Kenya Little General Election: A Study in Problems of Urban Political Integration*.
53. F. Mitchell, *The Economic Value of Wildlife Viewing as a Form of Land Use*.
54. P. Robson, *Economic Integration between the Republic of South Africa and Botswana, Lesotho and Swaziland*.
55. J. Miller, *A Report on a Case Study of the Tinned Fruit and Vegetable Industry*.
56. R. Clarke and F. Mitchell, *The Economic Value of Hunting and Outfitting in East Africa*.

57. R. Posner, *Preliminary Results of a Survey of Labour Force on Mixed Farms in Trans-Nzoia*.
58. L. Brownstein, *Preliminary Results of a Survey of 1964 K. P. E. Candidates in Embu, Kitui, Kericho and Nyanza*.
59. D. C. Rogers, *The Returns to Investment in Higher Levels of Education in Kenya*.
60. M. Wheeler, *Professional Fees in the Kenya Building Industry*.
61. P. Marris, *The Social Barriers to African Entrepreneurship*.
62. D. F. Heisel, *Fertility Limitation among Women in Rural Kenya*.
63. G. J. Smith, *Ghana's Economic Objectives and Performance*.
64. Eighteen Economists, *The Economics of Kenyanisation*.
65. D. P. Ghai, *Strategy for a Public Sector Wage Policy in Kenya*.
66. D. P. Ghai, *Incomes Policy in Kenya: Need, Criteria and Machinery*.
67. J. E. Anderson, *Education for Self Reliance--The Impact of Self Help*.
68. P. A. Diamond, *Effective Protection of the East African Transfer Taxes*.
69. J. R. Harris and M. P. Todaro, *A Two Sector Model of Migration with Urban Unemployment in Developing Economies*.
70. T. J. Aldington and F. A. Wilson, *Some Aspects of the Kenyan Beef Economy*.
71. J. R. Harris and M. P. Todaro, *Urban Unemployment in East Africa: An Economic Analysis of Policy Alternatives*.
72. J. R. Harris and M. P. Todaro, *Wage Policy and Employment in a Developing Economy*.
- Non-Agricultural Sector of Kenya: A Preliminary Research Proposal.
4. B. F. Massell, *The Newman Model*.
5. F. Mitchell, *A Rough Calculation of the Returns to Land from Game Viewing in One Area of Kenya*.
6. J. Miller, *Effect of the Kenya Government's Industrial Protection Policy*.
7. N. O. Jorgensen, *Industrial and Commercial Development Corporation: Its Purpose and Performance*.
8. H. Dahl, *Capital Imports Projections for Kenya 1970 and 1975*.
9. B. F. Massell, *Effective Protection and the Relative Efficiency of Tariff Structures*.
10. Z. Onyonka, *The Agricultural Finance Corporation*.
11. L. Brownstein, *Primary School Leavers after K. P. E.*
12. J. U. Heyer, *Agricultural Price Marketing Policy in Kenya*.
13. D. P. Ghai, *Some Notes on Labour Markets in East Africa*.
14. Z. Onyonka, *The Concept of an Efficient Financial System*.
15. R. Posner, *A Survey of the Labour Force in Mixed Farms and Settlement Schemes*.
16. T. C. I. Ryan, *Peasant Production Decisions*.
17. R. Posner, *The Labour Force in Large Scale African Agriculture*.
18. P. Robson, *Measuring the Costs and Benefits of the East African Common Market*.
19. D. P. Ghai, *Employment, Wages and Technology in the Industrial Sector in Kenya*.
20. D. Rogers, *Private Returns to Higher Education in Kenya*.
21. T. Aldington and F. Wilson, *The Marketing of Beef in Kenya*.
22. J. Wells and E. Rado, *Constraints and Costs of the Kenya Building Industry*.
23. F. Mitchell, *The Impact of Tourism on National Income*.

Staff Papers

1. D. M. Etherington, *Interim Report on the Economic Survey of Smallholder Tea in Kenya*.
2. D. M. Etherington, *The Calculation of Smallholder Tea Yields in Kenya by Multiple Linear Regression Analysis*.
3. D. P. Ghai, *Employment and Output in the*

(調査研究部 林 晃史)